

基本データ

日時：2019/03/12 10:00-14:00

場所：立命館大学 衣笠キャンパス

運営体制：

職員 3名 | 学生委員 39名 | 講座スタッフ 2名

参加者数：64組 105名

概要

新入生と保護者の両方を対象にした説明会。今年度は前に立って話すのがすべて学生になり、自分たちの言葉で話すことを重視した説明会になりました。

コンテンツ

- ・説明会(90分)
生協について/共済について/大学生活について/
学びについて/企画紹介/食堂の利用方法
- ・キャンパスツアー(90分)
- ・個別相談会

01 一人ひとりに寄り添う グループ形式

GL, sGLが新入生・保護者の一人ひとりに対応

参加者が会場に入るとまずは、学生みんなの「おはようございます！」の声会場全体から聞こえてきます。

その後、新入生と保護者が班に入ると、GL,sGLがすぐに話しかけて、温かく迎え入れます。最初は緊張している様子の新入生も先輩に話しかけられることで自然と笑顔になっていました！



受付開始時間前でも来てくれた参加者にはGL,sGLが必ず話しかけに行きます！

02 説明会のコンテンツを 楽しくわかりやすく

伝えるべき内容がしっかり詰まった90分

立命館生協について、学生総合共済について、衣笠キャンパスの学生の生活、学びについてなどなど、必要なことを丁寧に説明しました。その中でも、グループごとに考えるクイズを挟んだり、動画を流して説明したりなど、参加者が楽しめる工夫がされていました。

スクール形式での説明会は90分間。新入生に「これが大学の講義の長さです！」とリアルに伝えました。

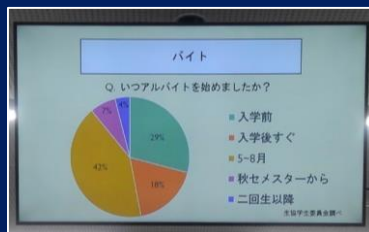


ミールが使えるのはどれ？というクイズを班ごとに考えています！

03 自分たちの実体験に 基づいて話す説明会

自分の声、友だちの声、アンケートの活用！

説明会中は、学生自身の経験を話すことを常に意識しています。「教習所は生協で申し込みました」「友達がPCを持たずに困っていて……」など、自分や身近な友達の経験を話します。バイトに関する話などでは、学生生活実態調査などのアンケートもうまく活用していました。そして共済については、実際に給付を受けた人に話を聞き、その様子をビデオで流しました！



アンケートも使って、大学生のリアルな生活を伝えます。

04 GL, sGLと話しながら キャンパスツアー

食堂体験も含め、構内を広く案内

班ごとにGLがキャンパス内を案内します。主要な建物の前では立ち止まり、「ここは〇〇学科の学生が……」と学生目線の説明をしていきます。また、歩いている最中にも、保護者や新入生に自分たちの普段の生活を語ります。

生協店舗についても、購買は実際に中まで案内し、食堂は500円券を使って利用体験してもらいました。



生協の組合員センターもしっかり案内。説明会で伝えた窓口について再度確認します！

05 最後はGLが しっかりクロージング

紙芝居の形式で説明会を振り返る

最後は会場を移して、班ごとにまとめの時間。GLが紙芝居を用いて、今日の説明会で話した内容をおさらいします。期日や申込方法について確認することで、新入生・保護者がこれから何をすればよいか再確認できますね。

説明会からキャンパスツアーまで一緒に行動していたGLの言葉はみんな真剣に聞いていました！



班のGLが紙芝居を用いて説明会の内容を確認します。申込期日などを再確認！

06 あらゆる不安に 応える個別相談会

さまざまなテーマのブースで対応

一通りの流れが終わった後は、個別対応の時間です。生協・共済、ミール、PCや講座、そして、自分たちが使っている教科書や、自分たちが書いたレポートも置いて、新入生の質問に答えました。ブースに来る人に対応するだけでなく、近くにいる学生が話しかけて、不安なことがないか聞いていきます。



個別ブースでPCスキルのチェック。先輩が丁寧な個別対応で説明します。

07 その日のうちに みんなで振り返り

次の説明会をよりよくするために

個別相談会が終わると、みんなで集まって振り返りをします。今日一日の中でもっと改善できた点はないか、みんなで意見を出し合います。班に入っていたGLとsGLも、裏方の運営で走り回った学生委員も、後ろから見ていた職員も、次の説明会をよりよくするためにできることをどんどん出し合いました。



説明会のチーフを中心に各コンテンツごとの振り返りをします。



関西北陸ブロック
学生事務局
[梶原 泰斗]



訪問者からひとこと

衣笠の学生の温かさがあふれる説明会でした！会場にいるスタッフ全員が常に新入生や保護者に話しかけているところがGoodポイントです！